

東京大学総長選考・監察会議議長所信表明

―議長就任にあたって―

本年4月16日の総長選考・監察会議において議長に選出され、引き続き、今年度もその重責を担うこととなりました。

総長選考・監察会議にとって、今年度は、次期総長選考に向けて、必要な課題を検討し、決定していく重要な年となります。総長選考の在り方に関しては、前回の総長選考プロセスで明らかになった課題も含め、求められる総長像、意向投票や職員の参画の在り方、第2次候補者の絞り込み方法、候補者情報の提供の在り方等、多くの検討課題がリストアップされており、いよいよこれらについて着実に検討を進め、決定していく段階となっています。

これらの検討に当たっては、十分に意見を聴き、議論が尽くされることが重要であり、学内の様々な会議との連携も必要です。国立大学法人法改正により、昨年度、運営方針会議が設置されましたが、同会議は、総長の選考基準その他の総長の選考に関する事項について総長選考・監察会議に対して意見を申し出ることができることになっています。また、経営協議会や教育研究評議会との意見交換や、広く学内にパブリックコメントを求めることも重要なプロセスと考えられます。このように総長選考に関する検討の様々なプロセスを通じて、望ましい選考のあり方を構築していきたいと思っています。

総長選考・監察会議がこのような役割を十分に果たしていくためには、学内外に信頼される公正・中立な運営の下、活発な議論が行われることが極めて重要です。そのために微力ながら努めてまいりたいと存じますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2025（令和7）年5月2日

東京大学総長選考・監察会議議長 板東 久美子